

2025年

3月19日(水) ▶ 5月12日(月)

紙の文化博物館特別展

版元辻文

- 【会場】 越前和紙の里 紙の文化博物館 2階展示室
【開館時間】 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】 毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は開館）
【入館料】 一般300円、高校生以下無料、団体200円（15人以上）

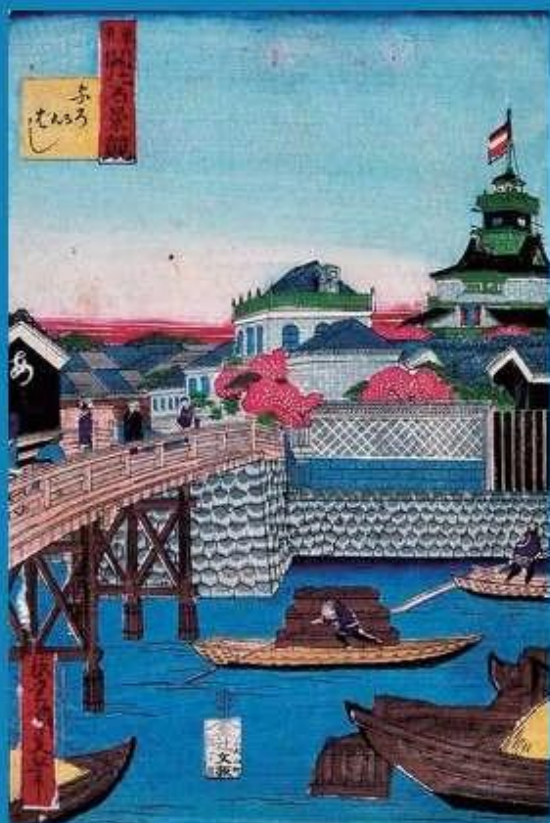
越前和紙の紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12
TEL: 0778-42-0016 FAX: 0778-42-3260
<https://www.echizenwashi.jp/museum/>

※入館料は、紙の文化博物館・御立の工藝館と共通

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は150円

三代目歌川豊国「役者見立東海道五十三駅篇版小町屋寄七」



梅堂国政「東京開化名景越前江戸」

紙の文化博物館特別展 版元辻文



豊原国周「花盛楽堂愛見板東三郎」

越前ゆかりの版元

木版画がメディアの主流であった江戸時代に出版を担ったのが「版元」です。版元は世間が何を求めるのか動向を探り、何が売れるのかを見極め、誰に依頼するかなども決めるプロデューサーでもありました。版元として代表的な人物が、今年の大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」主人公の蔦重こと蔦屋重三郎です。

しかし、版元は蔦重だけではありません。幕末から明治にかけて活躍した版元、辻文こと辻岡文助は、今立五箇から江戸に出て、後発ながら当時を代表する版元となったと伝えられています。本展では、版元辻文が出版した江戸の終わりから明治にかけての作品たちを中心にをご紹介します。

北陸新幹線

JR 越前たけふ駅下車

下車後タクシーまたはレンタカー（10分）
レンタサイクル（約20分）

JR 特急・ハピラインふくい

JR 大阪駅～敦賀駅～武生駅

JR 名古屋駅～敦賀駅～武生駅

ハピライン武生駅下車後、タクシーで20分
福鉄バス南越線または池田線で30分、和紙の里下車後徒歩3分

自動車

米原JCT～武生IC（北陸自動車道1時間）

武生ICより10分



【会場】 越前和紙の里 紙の文化博物館 2階展示室

【開館時間】 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】 毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は開館）

【入館料】 一般300円、高校生以下無料、団体200円（15人以上）

※入館料は、紙の文化博物館・卯立の工芸館と共通

※身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は150円

越前和紙の里 紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12

TEL：0778-42-0016 FAX：0778-42-3260

<https://www.echizenwashi.jp/museum/>

